

港湾の耐災害性強化対策(地震対策、高潮・高波対策、走錨対策、埋塞対策)【国土交通省】

施策概要

港湾施設の地震対策、高潮・高波対策、走錨対策、埋塞対策高潮・高波対策を推進し、耐災害性を強化

効果

地震、津波及び豪雨等の大規模災害の発生時においても、港湾施設の被害の軽減を図り、海上交通ネットワークを維持

全国的な対策と効果

地震対策(耐震化等)



埋塞対策(海洋環境整備)



走錨対策(防波堤の設置等)



高潮・高波対策(防波堤の倒壊対策等)



上図番号	港湾	対策区分	整備内容	整備効果(想定含む)
①	堺泉北港	地震対策	橋梁の耐震化	地震後も耐震強化岸壁までの輸送ルート確保
②	高松港	地震対策	耐震強化岸壁の延伸	南海トラフ地震時においても、緊急物資を輸送
③	網走港	高潮・高波対策	防波堤の延伸	沖波波高6mでも港湾施設の損害を防止
④	厳原港	高潮・高波対策	防波堤の倒壊対策のため石材を追加	防波堤の補強により施設被害防止
⑤	下田港	走錨対策	避泊水域確保のための防波堤等の整備	荒天時の避泊水域を確保し、走錨事故の発生を防止
⑥	小名浜港	走錨対策	避泊水域確保のための防波堤等の整備	荒天時の避泊水域を確保し、走錨事故の発生を防止
⑦	横浜港	埋塞対策	清掃船による流木や漂流ごみの回収	漂流物による航路閉塞を防止
⑧	田子の浦港	埋塞対策	港内浚渫の実施	豪雨時の流出土砂による航路埋没等を防止



※地図上の8港は対策の例であり、他の港湾施設においても対策を実施

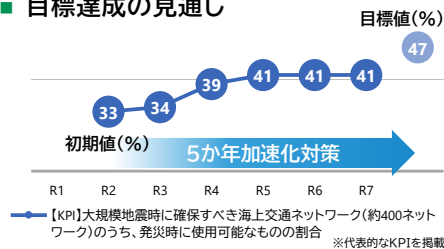
予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
618億円	438億円	528億円
R6	R7	累計
491億円	391億円	2,466億円

※ 予算額(国費)(加速化・深化分)は、対策番号61-(1)、61-(2)、61-(3)、61-(4)の合計額を記載

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

目標達成の見通し



【KPI】大規模地震時に確保すべき海上交通ネットワーク(約400ネットワーク)のうち、発災時に使用可能なものの割合 ※代表的なKPIを掲載

効果発揮事例

防波堤の整備により、離島航路等の安全を確保する



国土交通省 北陸地方整備局

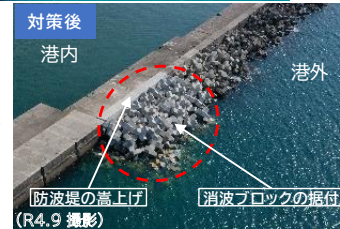


新潟県新潟市



新潟港西港地区防波堤整備事業

橋脚の補強工事



整備前の越波状況



事業費

410億円(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)5.2億円)

事業の背景(地域の課題)

新潟港西港地区は、定期フェリー航路を中心とした交流拠点として地域経済を支えている。防波堤の未整備区間において、防波堤を越えて波が港内に入ることにより、港内の静穏度が低下し、航路の安全性が確保できないことが課題であった。また、我が国最大の離島である佐渡島との離島航路をはじめ、人流・物流を通じて人々の生活を支える重要な航路であるため、定時性の向上が必要であった。

【新潟港に就航するフェリー航路】

フェリー航路	便数
新潟～両津	5便/日
新潟～(秋田)～吉小牧	6便/週
新潟～敦賀	1便/週
新潟～小樽	6便/週

※令和7年12月現在



事業の内容

新潟港西港地区の港口部は狭隘となっており、出入港する船舶の安全確保に必要な防波堤の延長(1,700m)を確保し、防波堤に対する港外側からの波高を低減させる必要がある。5か年加速化対策により、港内側へ入り込む波を抑制し、港内の静穏度を向上させるため、未整備区間の防波堤の嵩上げや消波ブロック据付による整備を実施した。

効果

防波堤の安定性が向上し、港内を航行する船舶の安全を確保した。また、港内の静穏度が向上し、船舶の揺動が抑制されることで着岸が容易となり、定時運航を行っている離島航路等の定時性が向上した。



(1) 人命・財産の被害最小化
 (2) 交通・ライフラインの維持
 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

2 インフラの老朽化対策

(1) 3 施策のデジタル化
 デジタル化等の推進
 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるための

(2) 災害関連情報の高度化